

### 「聞き取り困難症(LiD)/聴覚情報処理障害(APD)」の症状及び現状

#### どういう症状なのか

- ✓ 「聞こえている」のに、「聞き取れない」「聞き間違いが多い」など、音声をことばとして聞き取るのが困難な症状を指す
- ✓ 通常、人は耳で拾った音を電気信号に変換し、それが脳に伝わって初めて「聞いて理解する」ことができる
- ✓ LiD/APDの方は、耳から脳への伝達自体は正常で音そのものは届いているのに、その音が何を意味するか脳で処理・認識することがうまくできない

- 通常の聴力検査では異常がないが、特定の条件下では、音声を言葉として聞き取ることが困難になる症状

#### 現状

- ✓ 令和6年3月に国立研究開発法人日本医療研究開発機構の研究チームが「診断と支援の手引き」を作成したが、いまだ確立された治療法や支援方法はないとされている
- ✓ 診断できる医療機関も少ない
- ✓ 近年、メディアで取り上げられ、少しずつ一般の方にも知られるようになっている

- 特に、子どもについては、聞き取りの障がいが見過ごされることで、発達や学習の遅れにつながるため、教育機関等と連携が必要

社会的に認知され始めたばかりの障がいのため、理解促進や周知を検討する必要がある  
⇒ 早期の発見・支援することで、学習面やコミュニケーションの困難を軽減できる